

# がじまる 3月



みんなで祝おう 50周年  
みんなで進もう 名護市の未来

318



2021年3月 1日

編集発行：名護市立中央図書館  
〒905-0011 沖縄県名護市宮里5-6-1  
TEL:0980-53-7246 FAX:0980-52-2607  
<http://www.city.nago.okinawa.jp/library/>

## 就職、転勤等で引っ越しをする方は 利用カードを窓口で返納して下さい。

### 返納対象者

- ・就職、転勤等で名護市および北部11町村以外に生活拠点を移す方
- ・名護市以外に在住の方で生活拠点を移して進学される方

### 返納時の注意

- ・マイページで貸出中の資料がないか確認してください。借りている資料があれば、返却してください。
- ・資料の紛失、破損等がある場合は窓口にお越しになり相談してください。
- ・弁償手続き中の資料がある場合は、手続きを完了してください。

### 資料の返却方法

- ・図書館が開いている時は窓口、閉まっている場合は返却ポストを利用してお返しく下さい。

開館時間は中央図書館：火曜日～日曜日 朝9時～夜7時

羽地図書室：火曜日～土曜日 朝11時～夕方5時

図書館の資料は、名護市民の大切な財産です。できるだけ多くの市民のみなさまが平等に資料を活用できるよう、ご協力をお願いいたします。不明な点がございましたら、お気軽に図書館職員におたずねください。

### 1月の統計

本館貸出冊数	19,882	冊
がじまる号貸出冊数	3,962	冊
羽地地区以外-貸出冊数	569	冊
全館貸出冊数	24,413	冊
開館日数	23	日
予約件数	274	件
来館者数	8,604	人
登録者数		
(月)	80	人
(累計)	57,152	人



「マイページ」を活用すると、借りている資料や返却期限を確認できたり、本の貸出延長ができるよ。  
メールアドレスを登録したら、返却期限のお知らせや、予約・リクエストが準備できたお知らせも来るよ。ぜひ、マイページを活用してね。



利用照会のページ

### マイページで借りている資料の確認方法

- ①名護市立図書館のホームページにアクセス
- ②「本の検索」をクリック
- ③マイページの「利用照会」をクリック  
(マイページを利用したことがない方は、新規パスワードを登録してください)
- ④「貸出中一覧」から借りている資料を確認

### ☆本・紙芝居・雑誌の貸出延長方法☆

次のA～Cまでの条件を満たせば、マイページの貸出一覧から資料の貸出延長ができます。

- A. 返却期限内であること
- B. 延長したい資料に予約が入っていないこと
- C. 延長貸出は1度だけ

休館日とがじまる号巡回スケジュール

日	月	火	水	木	金	土
	1 全館定期休館日	2 屋我地ひるぎ学園	3 風の子保育園 久辺中学校 久辺小学校	4 星のしずく保育園 稲田小学校	5 瀬嵩保育所 緑風学園 羽地小学校	6
7 羽地図書室休館	8 全館定期休館日	9 数久田地区会館 真喜屋小学校	10 名護特別支援学校	11 伊差川保育園 大北小学校	12 銀のすず保育園 中山分校	13 大中公民館 わんさか大浦パーク
14 羽地図書室休館	15 全館定期休館日	16 安和小学校 勝山病院	17 桜野特別支援学校	18 許田コミュニティセンター 瀬喜田小学校	19	20 春分の日 (全館休館)
21 羽地図書室休館	22 全館定期休館日	23 聖ルカ保育園	24 あすなる東 認定こども園 東江地区会館 名護市役所	25 整理休館日	26	27
28 羽地図書室休館	29 全館定期休館日	30	31			

職員オススメの本

『空をつくる』

村尾 亘/作・絵 小さい書房/出版

児童書

主人公のお仕事は絵描きさん。風に吹かれながら絵をかくのが好きで、その仕事を始めました。町中に家が建つようになると、家の壁に「空」を描く仕事が増え、人気の絵描きさんになりました。でも、次第に好きな仕事に疑問を抱くようになり…。

この本を読む前はワクワクした題名の「空をつくる」という言葉が、読後は悲しい響きに感じました。

最近話題のSDGs(持続可能な開発目標)に絡めて紹介されることが増えた絵本だそうです。

また、働く大人が読むと、働くことの理想と現実について共感するかもしれません。

お子様と一緒に読んでみてはいかがでしょうか。

(NORI)

『慣用句キャラクター図鑑』

深谷圭助/監修 いうみつる/イラスト  
日本図書センター/出版

児童書

「気がつく」「世話を焼く」「口がすべる」などなど。これら『慣用句』は私たちの日常会話でも耳にすることがありますよね。そのような慣用句がこの本ではイメージキャラクター付きで言葉の意味や使う状況などを教えてくれます。たとえば「馬が合う」はとても気が合い意気投合するという意味の慣用句ですが、本書では馬と騎手が手を取り合って楽しそうにしています。

イラストだけを見てもなんとなく言葉のイメージが湧くように構成されているので小さい子たちはパラパラめくるだけでも十分楽しめるかも。

(モルカー)